

2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

国道49号が五百川を横切る橋の近く。

(2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

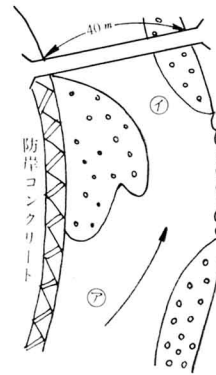
① 川に下りる前に、上から川の全景をスケッチする。

② 川原や川岸のがけや防岸工事の位置などを書き入れる。

③ 川の流れが大きく曲がる所で、岸がけずられ、がけになって切り立っている。がけは流れの曲がっている内側か、それとも外側か。他の場所でも川の流れの曲がりとかげの関係を調べる。

また、川原は流れの曲がりに対してどちら側にできているか。

川岸がけずられたり、川原ができたりするのは、川の流れの曲がる所の外側・内側と定まっていることがわかったが、その原因について話し合ってみる。



(3) 川原において、流水のはたらきを観察する。

① 川原から向こう岸に進むにつれ深さはどう変っていくか。

② 川原から向こう岸に進むにつれて、川底の砂やレキの大きさがどのように変わるか観察する。

③ 川原の近くと向こう岸近くで流れの速さはどうか。うきを流して速さを比べる。

